

# 美桑が丘

校訓『創造敬愛』

下川町立下川中学校  
令和7年度学校だより  
第8号 R7. 11. 28発行

## 視 点 を 変 え る と

校長 越 湖 憲 治

北海道の高校入試に導入されている自己推薦制度を活用して、多くの生徒が受験に挑戦しています。本入試制度では、単に学力だけでなく各高校が示す「入学者の受け入れに関する方針」について自己推薦書及び面接によって可否を判定することになります。ある高校の方針の中に「学校で培った資質や能力を生かし、地域(郷土)や他者に貢献しようとする生徒」という項目があります。入試前に3年生と面接練習をしますが、その中で「ボランティア活動の経験はありますか。」と質問することがあります。すると決まって「はい、中学校で毎年地域清掃を行っていました。」という回答が返ってきます。間違っていないと思いますが、もっと自己の成長を訴えてほしい…。

ボランティアとは、次の3つの原則を満たしていることが前提となっています。

1. 自発性…個人が自らの意志で他者や社会に貢献すること。
2. 社会性…他者との連帯感や協力の重要性を強調し、コミュニティの形成や支援を促進すること。
3. 無償性…個人の自己実現や社会貢献の意欲のみを重要視すること。

過日、妻の誘いで生まれて初めて献血をすることになりました。きっかけは、不安定な世の中を象徴するようなニュースばかりを耳にしている折りに、妻の発した「私たちも自分たちのことばかりではなく、人のために頑張らないとね。」という言葉でした。妻が示す“人のため”が献血だったということです。初めての献血は、とても新鮮でした。会場に行くと“皆様の思いやりで助かる命があります。献血は命をつなぐボランティアです。”という表示があり、ちょっとした緊張を感じるのと同時に献血することへの意味を再認識しました。また、医学が進む一方で病気治療のための必要献血者に血液が満たない月もあること、私の血液型O型が意外に不足しているということなどを知り、その必要性への意識を高めました。献血の流れは①受付②問診・事前検査③採血④休憩⑤帰宅となり、至って簡単でした。ボランティアという直接的な実感はありませんが、私のほんの数分間が誰かの役に立っているのかと思うと、心が温かくなったような気がしました。

考えてみると、学校は気がつかないうちに多くのボランティアに支えられ、そして、きっと子どもたちも見えないお返しをしているのではないかと考えています。視点を変えて別の角度から考えたとき、様々なことが違って見え、新たな自分が存在するのではないのでしょうか。校長として、「ボランティアの経験はありますか。」の問いに「私は、下川町にこんなことで貢献してきました。」と自信をもって返答できる子どもたちに育ってほしいと願っています。

### ■入試選抜説明会

11月4日(火)、3年生と保護者の皆様が参加して、入選説明会を行いました。本校の進路担当が、高校入試制度の概要や、今後の進路決定に向けたスケジュール、出願に関する注意点などについて詳しく説明し、生徒・保護者の皆様は熱心に耳を傾けていました。

今後も、進路に関する不安や疑問があれば、遠慮なく担任や進路指導の先生に相談してください。生徒の皆さんが、志望する高校の合格に向けて努力を重ねていけるよう、学校全体でサポートしてまいります。受験勉強はもちろん、出願準備についても期限を守るなど、ご家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。



## 地域とともにある緊密な連携による開かれた学校づくり

### ■実業団選手来校

10月31日(金)、ヨネックスソフトテニスチームに所属する米澤 要選手と白崎 ひかる選手が来校し、本校ソフトテニス部の生徒たちに直接ご指導いただきました。今回の訪問は、名寄市の宮崎スポーツ社長であり、下川町スポーツ推進委員会委員長でもある遠藤 和之さんのご厚意により実現したものです。実業団で活躍されている選手から専門的な技術を学ぶことができ、生徒たちにとって大変貴重な経験となりました。



### ■名寄高校インターンシップ

11月5日(水)・6日(木)の2日間、名寄高校1年生で本校の卒業生、塩田琴音さんと伊藤太一さんの2名をインターンシップ(職業体験)で受け入れました。これは、教員の職務や学校教育の内容について理解を深め、生徒と触れ合う楽しさや教職の魅力を実感できるようにすることが目的です。

2日間で、高校生の2人は授業参観と支援や休み時間、部活動などで生徒たちと交流したり、若手教職員との交流や教員業務の体験等を行ったりしました。



### ■生徒と地域の連携を模索

11月6日(木)の放課後、生徒会書記局と下川町社会福祉協議会の橋本さんが打ち合わせを行いました。内容は、生徒会で行っているリングプル回収をより効率的で効果的に行うための連携についてです。町内にリングプル回収箱を設置できる場所を増やしたり、回収を地域の方にお手伝いしてもらったりする等、お互いにとって実りのある話し合いになりました。



### ■防犯教室

11月10日(月) 名寄警察署生活安全課の方をお招きし、薬物乱用防止や飲酒・喫煙防止に関する講話をしていただきました。さらに、不審者に腕をつかまれた際の対処法として、実践的な護身術もご指導いただき、生徒たちは真剣な表情で取り組んでいました。護身術の体験の最後には、「護身術を使うような事態になる前に、まずはその場から逃げるのが大切である」との注意喚起もあり、生徒たちは安全への意識を一層高めることができました。





# 深い学びの実現を図る総合的な学習の時間

## ■1年キャリア学習

11月7日(金)の総合的な学習の時間では、キャリア学習のオリエンテーションを実施しました。この時間では、生徒たちは「エッセンシャルスキル」(ほとんどすべての職業で求められる基本的な力)について学びました。また、適職・適学診断を通して、自分の良さや個性に気づき、将来の進路や働くことへの意識を高めるきっかけとなったと思います。

今後、1年生の総合的な学習の時間では、「自己を見つめ、将来の夢を思い描く ～理想の人生を土台とした職業選択～」を探究課題として設定し、自己理解を深めながら、自己管理能力やキャリアプランニング能力の育成を図っていきます。その一環として、12月には地域の方をお招きし、職業観や人生観について語っていただく「ゲストトーク」を実施予定です。さらに2月には、大学生との交流を通して、自分の将来について語り合う機会も設ける予定です。これらの学びを通して、生徒一人ひとりが自分らしい生き方や働き方を主体的に考えられるよう支援してまいります。



## ■2年中高合同キャリア発表会

11月12日(水)、本校2年生が下川商業高校1年生とポスターセッションを通じて、職場体験やインターンシップの成果を交流しました。生徒たちは、右に示した6つのポイントを整理し、高校生に一生懸命分かりやすく発表しました。また、高校生の発表にも熱心に耳を傾け、働くことの意義や社会への理解を深める貴重な機会となりました。さらに、この日は保護者の方々にもご参観いただき、生徒たちの堂々とした発表や真剣なやり取りを温かく見守っていただきました。これからも自分の将来の進路選択や決定に生かしながら、社会的・職業的自立に向けて必要な力の育成を図ってまいります。

### 2年生の発表内容6つのポイント

- ① どんな力を身に付けたいか
- ② どこで職場体験を行ったか
- ③ どんなことを体験したか
- ④ 職場の方にインタビューしてわかったこと
- ⑤ 職場体験で感じたこと
- ⑥ 身に付けたい力はようになったか



## ■3年まちづくり学習学年発表会

11月12日(水)、3年生がこれまで取り組んできた探究課題「持続可能な下川のまちづくりについて、町長に提言しよう」の学年発表を行いました。生徒たちは、地域の方々の講話やインタビューを通して得た知見をもとに、自分たちの言葉で提言内容をまとめてきました。発表では、スライドを活用しながら、より分かりやすく伝えるための工夫を凝らし、堂々と説明する姿が見られました。

今回の発表会で選ばれた代表生徒は、11月25日(火)に公民館ホールで開催される全体発表会で、町長への提言を発表しました。その他の生徒も、発表会の運営スタッフとして役割を担い、学年全体で取組を支えていました。

この様子は、来月号の学校だよりで詳しくお伝えする予定です。どうぞ楽しみに。



### ■3年認知症サポーター養成講座

11月12日(水)、下川町役場保健福祉課と下川町社会福祉協議会からお二人を講師にお迎えし、家庭科の授業の一環として「認知症」に関する出前授業を実施しました。高齢化が進む中、認知症は決して他人事ではなく、誰にとっても身近な課題です。今回の授業では、認知症を正しく理解することの大切さや、自分にできること、専門的に相談できる窓口について学ぶ、貴重な機会となりました。



### ■おいしい給食

11月19日(水)に生徒会書記局の企画で、異学年交流を目的としたイベント「おいしい給食」を行いました。全校生徒が学年の枠を超えた5つのグループに分かれて給食を食べた後、昼休みにはレクで「10回クイズ」を楽しみました。



### ■受賞おめでとうございます

#### ○税の作文

名寄税務署管内青色申告会連合会会長賞  
公益社団法人名寄地方法人会会長賞  
下川町優秀賞 板橋 太一 遠藤 陸  
松田 大聖 清水 陽

小西 琉椰  
津志田 紗  
佐藤 大翔

#### ○「税を考える週間」絵画展

名寄税務署長賞  
下川町長賞  
下川町商工会長賞  
名寄地方法人会下川支部長賞  
下川青色申告会会長賞

立花 日葉梨  
小西 琉椰  
板橋 太一  
遠藤 陸  
島田 愛梨

#### ○下川町スポーツ奨励賞

第76回北海道中学校軟式野球大会優勝及び  
第47回軟式野球大会出場の功績

佐藤 大翔

#### ○ソフトテニス部

北海道中学生インドアソフトテニス選手権大会  
上川代表決定戦中学女子第5位

竹本祐那・野崎未雅ペア



### STOP SNS Trouble ポータルサイト

北海道が開設したインターネットトラブルに関する情報を集めたポータルサイトです。SNS利用に起因する犯罪の未然防止にぜひご活用ください。

<https://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/165453.html>



### 12月の予定

- 1日(月) 全校朝会、安全点検日  
1、2年テスト前学習会(～3日)
- 4日(木) 1、2年2学期末テスト①
- 5日(金) 1、2年2学期末テスト②、3年学力テスト
- 8日(月) 校内研修 PTA 運営委員会・推薦委員会
- 10日(水) 参観日
- 15日(月) 職員会議
- 18日(木) 常任委員会
- 23日(火) 2学期終業式
- 24日(水) 冬の二者面談(～26日)
- 25日(木) 諸費納入日
- 28日(日) 全道ノルディックスキー競技大会
- 29日(月) 学校閉庁日(～1月3日)